

ヘルペスウイルス抗原検査の採取説明

該当項目

水痘・帯状ヘルペスウイルス抗原〔FA〕
単純ヘルペスウイルス特異抗原〔FA〕

検体の採取方法

病巣基底細胞が多数得られるように採取して下さい。

早期の水疱病巣が検体として最適です。水疱内容液および膿は、検体として不適当です。

- ①滅菌針を用いて、上部の皮あるいは痂皮を剥します。(図1)
- ②病巣を覆っていた上部の皮を、ピンセット等で除去します。(図2)
- ③綿棒を精製水や生理食塩水で軽く湿らせます。
- ④ウイルス感染細胞は、病巣基底部にありますので、病巣基底部全面を綿棒で強くぬぐいます。(図3)

●注意

膿がでている場合には綿棒でまず膿をぬぐい去り、別の綿棒で検体を採取して下さい。この時、病巣基底部をかき乱さないように注意して下さい。

操作法

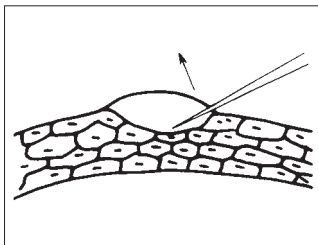
■検体の塗抹

- ①綿棒を回転させながらスライドガラスの2個の円内に塗りつけます。このとき綿棒は、スライドガラスに平行にして、全表面が触れるように塗抹します。不均一にならないように注意して下さい。(図4)
 - ②綿棒をすてる前に検体が均一に広がっているかどうか確認します。均一になっていれば不透明に見えます。透明に見える部分があれば、そこへ綿棒をあてて再び塗抹します。
 - ③そのまま風乾します。
 - ④乾燥したスライドガラス上に充分な量(検体にゆきわたる)のアセトンを追加し、蒸発させます。
- 検体はスライドガラス2枚を提出して下さい。

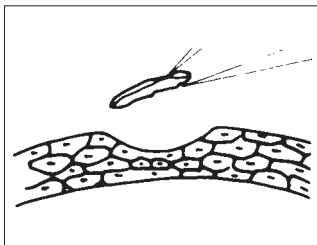
■検体の保存

乾燥後のスライドガラスは、塗抹面を下にし、オブジェクトケースに入れ、検査項目名、病院名、患者名等を記入後、凍結保存して下さい。

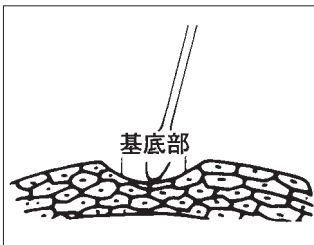
(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

